

世田谷区立三宿小学校  
校長 村田 奈緒美 様

世田谷区立三宿小学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 伊藤 一弥

## 令和5年度 学校関係者評価報告書

令和5年11月に実施された「学校関係者アンケート」の分析と評価結果がまとまりましたので、ここにご報告いたします。

調査方法は全児童・保護者・地域を対象に、アンケート方式で行い、兄弟が在籍している保護者にもそれぞれの学年での提出をお願いしました。また、アンケート結果の検討にあたり、本委員会では各項目について、選択肢「A：とても思う」と選択肢「B：思う」を合わせて集計し、80パーセント以上となった項目については、『概ねよい（一定の成果を得た肯定的意見）』という判断をしました。

### 【アンケート配布数と回収率について】

	令和4年度			令和5年度		
	保護者	地域	児童	保護者	地域	児童
配布数	272	29	272	255	29	1-4年 154 5-6年 78 計 232
回収数	138	18	260	108	20	1-4年 147 5-6年 75 計 222
回収率	51%	62%	97%	42%	69%	1-4年 95% 5-6年 96% 計 95.5%

### 【アンケートについて】

- ※1 アンケート集計表の、A+B（とても思う+思う）、C+D（あまり思わない+思わない）、E（分からない）で、%表示で記載してあります。また、数値は小数点以下を四捨五入してあります。
- ※2 1年生から4年生の児童アンケートと、5年生から6年生の児童アンケートでは、年齢に合わせて一部質問内容に違いがあります。学年によって内容が違うものについては、対象学年を表示しています。

# 1 項目別評価結果 (括弧内の数値は、昨年度。数値の単位は%)

## <学習指導について(児童・保護者)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
先生は、課題(めあて)について、自分が考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている。	90(90)	6(7)	4(3)
先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	87(83)	8(8)	5(8)
授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	91(92)	6(5)	2(4)
先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	91(90)	8(7)	1(2)

○ 良好な結果であると考える。

保護者アンケート集計	A+B	C+D	E
本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業を行っている。	88(80)	6(13)	7(7)
本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	79(70)	12(20)	9(11)
本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	91(85)	4(6)	6(9)
本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	81(69)	12(18)	7(13)

○ タブレットの活用を含めて保護者が学習指導の更なる向上を感じている。

## <生活指導について(児童・保護者・地域)>

児童アンケート集計	A+B	C+D	E
私は、学校のきまりを守って、行動している。	88(87)	10(7)	2(6)
学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	88(90)	7(8)	5(3)
先生に注意されたことは、理解できる。	93(90)	5(5)	1(5)

○ 良好な結果であると考える。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	81(77)	9(17)	10(7)
本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子供が理解している。	82(79)	11(17)	7(4)

- 学習指導同様に生活指導についても保護者からの認識が向上している。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
通学している子ども達は、交通ルールなどを守っている。	85(83)	0(0)	15(17)

- 良好な結果であると考える。

<学校行事について（児童・保護者・地域）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
学校行事は、楽しい。	93(93)	6(5)	1(1)
学校行事は、達成感がある。	88(85)	8(10)	4(5)
先生は、児童の意欲を大切にしている。	91(88)	3(3)	5(8)

- 児童が学校行事を楽しみにしている様子が窺える。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
学校行事は、子どもにとって楽しい。	98(96)	1(3)	1(1)
学校行事は、子どもにとって達成感がある。	99(93)	1(4)	0(2)
本校は、子どもの意欲を大切にしている。	91(81)	6(12)	4(7)

- 保護者は学校行事に前向きな学校と子供の満足度を評価している。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
学校行事の内容は充実している。	94(89)	0(6)	6(6)
事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	75(72)	15(0)	10(28)

- 良好な結果であると考ええる。

<キャリア教育について（児童・保護者）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
1-4年 自分が好きなこと、がんばったことについて、考える授業がある。	75(83)	14(8)	11(9)
1-4年 私は、係や当番の仕事を努力している。	87(89)	12(5)	2(6)
5-6年 区立中学校に関する情報が提供されている。	39(36)	25(28)	36(36)

- 昨年度に引き続き、児童にキャリア教育であることを意識させながら指導の工夫が必要ではないか。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	69(66)	18(19)	14(15)
本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	46(47)	27(29)	27(24)

- 設問に工夫（具体性をもたせる）ことが必要だと考える。

<学校運営について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	81(69)	12(15)	7(16)
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	84(80)	7(12)	9(7)

- 学校が本年度重視した目標伝達が、アンケートに反映されている。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
学校の重点目標が明確である。	85(83)	10(0)	5(17)
地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	65(72)	15(0)	20(28)

- 順当な結果である。

<教職員について（児童・保護者）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
先生たちは、ていねいに指導してくれる。	94(92)	4(4)	2(4)
先生たちに相談できる。	82(83)	13(10)	5(7)

- 昨年度同様、児童が答えにくい設問であり、区の共通質問としては適切ではないと考える。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、丁寧に指導している。	93(82)	6(14)	2(4)
本校は、子どものことを相談しやすい。	81(72)	16(25)	4(4)

- 保護者も上記同様。

<学校からの情報提供について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	95(89)	4(11)	1(0)
「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	36(25)	37(46)	27(30)
本校は、学校公開や保護者会などで児童の様子が分かる。	96(91)	4(8)	0(1)
本校は、ホームページやメールなどで保護者に情報を提供している。	88(84)	11(12)	1(4)

○ 情報公開、学校公開が充実している様子が伝わる。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子がわかる。	95(100)	5(0)	0(0)
「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	85(89)	10(6)	5(6)
学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がよくわかる。	70(61)	5(0)	25(39)
学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	74(83)	11(0)	16(17)

○ 順当な結果である。

<家庭と学校との連携について（保護者）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
私は、学校公開にすすんで参加している。	92(90)	8(8)	0(2)
私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している。	77(61)	23(33)	0(7)
私は、今年度の学校重点目標を理解している。	85(41)	15(30)	0(29)

○ 昨年度に続き、区の設定問としては適切とは言えない。

<地域との連携について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。	75(51)	8(18)	17(31)
本校は、地域の活動などに協力的である。	73(50)	7(13)	19(37)
本校は、地域に情報を提供している。	70(43)	11(12)	19(45)

○ コロナ禍で中断していた活動が再開されたことが分かる。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
地域の人や施設を教育活動に活かしている。	65(67)	15(11)	20(22)
学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	65(44)	15(17)	20(39)
学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	59(39)	12(22)	29(39)

○ 同上

<学校の安全性について（保護者・地域）>

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
学校は、安全な学校づくりを進めている。	80(82)	14(10)	7(8)
本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	96(93)	0(2)	4(4)
本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	86(85)	9(9)	5(7)

○ 良好な結果であると考ええる。

地域アンケート集計	A + B	C + D	E
学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	85(89)	5(0)	10(11)
学校は、安全性を高めようと、地域と協力している。	70(72)	25(0)	5(28)

○ 順当な結果である。

<学校全般について（児童・保護者）>

児童アンケート集計	A + B	C + D	E
学校生活は楽しい。	91(87)	7(8)	1(5)
学校が好き。	85(81)	12(15)	3(4)
私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	81(80)	13(8)	7(11)
私は、塾で学習している。	59(58)	21(32)	20(10)
5-6年 学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	48(38)	44(40)	8(23)

○ 宿題・e-ラーニング、塾の設問は適切でないを考える。

保護者アンケート集計	A + B	C + D	E
本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	92(87)	6(11)	3(2)
子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	69(61)	32(39)	0(0)
本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	43(38)	28(32)	30(30)
本校の教育活動に満足している。	81(74)	15(23)	5(3)
子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	75(69)	21(27)	4(4)

○ 順当な結果である。

<独自項目について（児童・保護者・地域）>

児童アンケート集計（括弧空白は今年度からの項目）	A + B	C + D	E
わたしは、自分から進んで学習に取り組んでいる。（ノートをきちんと書く、先生の話聞く、自分の考えをもつ・書く・伝える）	91(82)	5(10)	3(7)
わたしは、自分から進んであいさつをしている。	89(85)	8(10)	3(4)
わたしは、友達に親切にしている。	92(86)	4(3)	4(11)
わたしは、自分のことが好きである。	74(63)	17(24)	9(12)
わたしは、休み時間や下校後に進んで体を動かしている。	65(69)	25(25)	9(6)
わたしは、登校した時や休み時間の後に手洗いをしている。	87(—)	10(—)	3(—)
わたしは、早寝・早起きをしている。	67(—)	26(—)	7(—)
わたしは、しっかり朝ごはんを食べている。	90(—)	10(—)	0(—)
わたしは、時間を守って生活している。	83(—)	12(—)	5(—)

○ 良好な結果であると考える。

保護者アンケート集計（括弧空白は今年度からの項目）	A + B	C + D	E
本校の子どもたちは、元気にあいさつしている。	86(85)	13(12)	2(3)
本校の子どもたちは、規則正しく生活できている。	81(—)	8(—)	10(—)
本校の子どもたちは、タブレット等ルールにのっとって使用している。	60(—)	29(—)	11(—)

○ 順当な結果である。

地域アンケート集計（括弧空白は今年度からの項目）	A + B	C + D	E
本校の子どもたちは、元気にあいさつをしている。	75(72)	10(11)	15(17)
本校の子どもたちは、交通ルールを守っている。	90(—)	5(—)	5(—)

○ 順当な結果である。

## 2 まとめ

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行した。法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとした対応に変わったこともあり、教育活動全般がほぼコロナ禍以前に戻り、宿泊学習や社会科見学等の実施については、大きな事故もなく実施できたと報告を受けている。運動会や学習発表会、学校公開においては、保護者や地域の方々にも参加や協力を呼びかけ、大勢の方々の参加や協力を得ることができた。今後も、引き続き学校行事への保護者と地域が一体となって、学校行事が実施できることを望む。

今年度のアンケート内容は、一部学校側で新たに質問項目を設けているが、区の共通質問は基本的に昨年度と同一である。昨年度も触れたが、質問意図の分かりかねる質問があり、区には是非とも質問項目の改善をお願いしたい。

保護者アンケートの回収率の低下について学校に質問したところ、保護者にアンケートの協力を依頼する際、Web回答方法について、アンケートURLとアンケートQRコードのどちらかを選択できるように工夫をしたとのことである。回答のリマインドにおいては、複数回計画的に実施することで、回収率の改善に努めていただきたい。

今年度は、選択式の質問に関しては区の委託業者が作成したフォームのみで実施し、自由意見については実施しなかった。より良い学校づくりの参考とするためのアンケートであるので、自由意見欄を選択式の質問の後に設けていただきたい。

学校評価委員会がアンケート項目で着目していたものは、昨年度に引き続き、独自項目（学校独自の質問）児童アンケートにある「わたしは、自分のことが好きである。」という質問である。昨年度の結果では肯定的回答が63%と向上が見られたが、今回の結果は、更に上回る74%の結果が出ている。この結果は、教職員が日頃から児童一人一人に向き合い自己肯定感を高める取り組みや姿勢が表れたと考える。また、学校行事における活躍の場面や成功体験の機会が増えたことによるものと考えられる。児童の活躍の場を充実させる取り組みを継続していくようお願いしたい。

今回、自由意見欄を設けていないため、施設面の要望や家庭や地域からの情報提供、学級の実態等についての意見を確認することができなかった。次回は、より良い学校づくりの参考とするためにも自由意見欄を設けていただきたい。

これからも、子ども達の生活や学習の充実を実現するために、学校と家庭、そして地域の連携と協力が必要である。アンケートの結果をご覧いただき、それぞれの立場で子ども達に対してどんなことができるかを考えていただけると幸いである。

令和5年度 自己評価(全方位的な点検・評価)										教務
評価項目		A	B	C	D	肯定	否定	記述(改善案)		
I 学校経営方針について ①「探究的な学び」										
1	ねらいを明確にした授業を行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	1		
2	主体的・対話的な深い学びを目指し、自力解決・集団解決などを充実させた1時間の授業の流れを作っている。	5	11	0	0	100.0%	0.0%	2		
②「キャリア教育の推進」										
3	キャリアパスポートを効果的に活用し、自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択し、望ましい勤労観、職業観を身に付けられるように指導している。	5	11	0	0	100.0%	0.0%	3		
③「ICTの活用」										
4	児童の学習意欲や学習効果・効率を高めるためにICT機器、タブレット端末を活用している。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	4		
II 重点目標について (1)やさしい子(自分や友達のよさを認め、お互いを大事にする児童)の育成について										
5	あいさつの指導によってあいさつのできる児童に育ってきている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	5		
6	学校のまじりや基本的な生活のルールを児童に指導したことで生活規律を守る児童に育ってきている。	6	8	2	0	87.5%	12.5%	6	・遅刻をする児童や宿題を期日までに提出できない児童がいる。保護者とも連携を取ったり、継続して児童に声掛けをしたりする。 ・繰り返し声掛けしていく。	
7	学校内の生活面でいじめなどの人権的課題が発生したときは課題を素早く把握し、全職員で解決にあたっている。	13	2	0	0	93.8%	0.0%	7		
(2)がんばる子(試行錯誤を繰り返しながらも、粘り強く取り組む児童)の育成について										
8	体育の学習や休み時間の校庭遊びを充実させ、体を動かす楽しさや目標を達成する喜びを感じさせ、体力向上を進めている。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	8		
9	読書活動を充実させ、非認知能力(本を読み続ける「根気強さ」)と認知能力(語彙力や読解力)を身に付けさせている。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	9		
(3)よく考える子(課題を発見し、考え、判断して解決する子児童)の育成について										
10	国語科の指導を通して、「読む」「聞く」「話す」「書く」等の学習の基礎基本となる児童の資質・能力の向上に努めている。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	10		
11	ペア、グループ、全体の交流活動を充実させ、考えを広げたり深めたりできる、共感や協働を基盤とした授業を行っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	11		
12	朝学習や朝読書を充実させ、短時間で集中して学習する習慣を身に付けさせている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	12		
III 地域とともに子どもを育てる教育										
13	家庭教育の充実に向け、必要な情報を提供している。	5	11	0	0	100.0%	0.0%	13		
14	教職員が教育目標を共通理解し、児童・保護者・地域の方々へ説明している。	4	12	0	0	100.0%	0.0%	14		
15	保護者からの相談に誠実に対応している。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	15		
IV 未来を担う子どもを育てる教育										
16	学習指導 各教科などの年間授業時数の確保をしている。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	16		
17	週案を作成・提出し、計画的に授業を進めている。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	17		
18	始業終業時刻を守り、時間を大切に授業を行っている。	15	1	0	0	100.0%	0.0%	18		
19	朝学習を計画的に行っている。	6	10	0	0	100.0%	0.0%	19		
20	少人数指導の成果が上がっている。	6	10	0	0	100.0%	0.0%	20		
21	指導の工夫 教材研究を行い、指導方法の工夫・改善を図っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	21		
22	個に応じた指導を適切に行っている。	9	7	0	0	100.0%	0.0%	22		
23	体験的・問題解決的な学習を進めている。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	23		
24	基礎的・基本的な内容の定着を図っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	24		
25	評価規準を明確にして評価している。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	25		
26	教材・教員 施設の活用 情報機器を積極的に活用している。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	26		
27	学校図書館を積極的に活用している。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	27		
28	特別活動 集団の一員として、よりよい生活づくりに参画させ、自主的実践的な態度を育てている。	7	9	0	0	100.0%	0.0%	28		
29	行事の内容、日時、進行は適切に行われている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	29		
30	総合的な学習の時間 年間指導計画に基づき計画的に指導している。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	30		
31	総合的な学習の時間の評価を適切に行っている。	5	11	0	0	100.0%	0.0%	31		
32	学校行事 学校行事の準備や練習を適切に行っている。	9	6	1	0	93.8%	6.3%	32	・運動会や学習発表会、こどもまつりなど、適切な時数を年度の始めに示すことで、計画的に実施する。 ・学習発表会では、教科に該当するものを発表する。	
33	学校行事の工夫・改善を図っている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	33		

34	特別支援教育	特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心とした支援体制を構築し、特別支援教育を組織的に推進している。	8	8	0	0	100.0%	0.0%	34	
35		個別指導計画等が作成され活用している。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	35	
36		支援学級との交流の中で相手の立場に立って考える思いやりのある児童が育ってきている。	6	10	0	0	100.0%	0.0%	36	
37	世田谷 イレブン+	泉の学び舎を意識して他の小学校、三宿中学校との連携を深めている。	4	12	0	0	100.0%	0.0%	37	
V 信頼と誇りのもてる学校づくり										
38	学校運営 学校経営	校長の経営方針は明確に示している。	15	1	0	0	100.0%	0.0%	38	
39		校長は、リーダーシップを発揮している。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	39	
40		教職員の服務規律への自覚が高く、かつ守られている。	8	6	2	0	87.5%	12.5%	40	・時間行動の意識醸成を図り、会議の開始・終了時刻をきちんと守ることができる時間設定にする。
41	研究・研修	校内研究が授業力向上、日々の授業改善につながっている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	41	
42		世小研等の研修・研修会に積極的に参加している。	9	5	2	0	87.5%	12.5%	42	・仕事に優先順位をつけ、部会で見直しをもって仕事をすることで、積極的に参加できるようにしていく。
43	保健管理	日常の健康観察や健康診断等が適切に行っている。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	43	
44	安全管理	計画的・組織的に安全点検・安全指導を行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	44	
45	学校運営 学校経営	事故・災害等に迅速に対応できる体制を整備している。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	45	
46		通学路の安全点検等は適切に行っている。	5	10	1	0	93.8%	6.3%	46	・担当職員が危険箇所を把握し、計画的に行うようにする。
47		犯罪被害等防止の取り組みは適切に進めている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	47	
48	出納・経理	コスト意識をもち、予算や資源を有効に活用している。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	48	
49		私費会計の徴収・会計処理が適正に行っている。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	49	
50	文書 情報管理	学校から発信する文書は、校長(副校長)の決裁を得ている。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	50	
51		指導要録等の記入・点検・整理は適切に行っている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	51	
52		個人情報を適切に管理している。	14	2	0	0	100.0%	0.0%	52	
VI 教育環境の整備										
53	施設・設備	日常的な施設、設備の点検や管理は適切に行っている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	53	
VII その他										
54	地域運営学校	学校運営委員会の活動が活発に行われている。	10	6	0	0	100.0%	0.0%	54	
55	広報活動情報提供	教育活動を保護者や地域の方に積極的に公開している。	13	3	0	0	100.0%	0.0%	55	
56	学校協議会	学校協議会の活動が活発に行われている。	11	5	0	0	100.0%	0.0%	56	
57		各分掌の取り組み内容や計画が明確で適切に進めている	12	4	0	0	100.0%	0.0%	57	
58		教職員一人一人が主体的、組織的に教育活動を行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	58	
59	学校評価	学校評価は適切に行っている。	12	4	0	0	100.0%	0.0%	59	

## 令和5年度 重点目標の成果と課題

### 重点目標1

#### 1 目標

児童の自己肯定感・自己有用感のさらなる向上を目指す。

#### 2 数値による指標

児童アンケートの「わたしは、自分のことが好きである。」の設問で、肯定的回答の割合を80%以上にする。

#### 3 成果と課題

令和4年度の結果は63%、令和5年度結果は74%だった。向上が見られたが、目標達成までもう一步だった。約10ポイント増の要因は、学校行事がコロナ禍前にほぼ戻ったことで、活躍する場面が増えたことが要因と考える。来年度も引き続き学校行事の充実を図ると同時に、縦割り班活動を重視することで児童が主体的に活動する場面を増やしていく。

### 重点目標2

#### 1 目標

地域協力者を活用した学習活動を拡充する。

#### 2 数値による指標

保護者・地域アンケートの「本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。」の設問で、肯定的回答の割合を70%以上にする。

#### 3 成果と課題

令和4年度の結果は51%、令和5年度の結果は75%だった。目標達成の要因は、夏休みに実施しているサマースクールや、地域の学校施設利用団体が校庭・体育館を積極的に活用し、本校児童の育成に役立てているためと考える。今後も、地域人材の活用を図り学校と保護者、地域が一体となって学習活動を拡充していく。

### 重点目標3

#### 1 目標

キャリア教育の拡充および家庭への周知を行う。

#### 2 数値による指標

保護者アンケートのキャリア教育に関わる項目について、肯定的回答の割合を70%以上にする。

#### 3 成果と課題

令和4年度の結果は66%、令和5年度の結果は69%だった。目標までもう一步だった。児童自身がキャリア学習という認識をもつことで、少しずつ保護者への浸透が深まったと考える。今後もキャリアパスポートを充実させるとともに、児童の学習の軌跡を可視化させることで、児童や保護者が将来のことについて見通しをもつことができるようにしていく。

## 次年度（令和6年度）に向けた改善方策

### 重点目標1

#### 1 目標

児童の自己肯定感・自己有用感のさらなる向上を目指す。

#### 2 目標設定の背景と具現化への方策

本校児童の自己肯定感・自己有用感は、令和4年度は63%、令和5年度は74%と向上が見られるが、まだ十分な状態とは言えない。授業をはじめ、学級での活動、学校行事などにおいて、児童が主体的に活動し、役割を果たす場面を多く創出する。また、役割を果たすまでの過程に注視し、児童の努力や取り組みを教職員や児童同士が賞賛し認めあうことができるように工夫する。

#### 3 数値による指標

児童アンケートの「わたしは、自分のことが好きである。」の設問で、肯定的回答の割合を80%以上にする。

### 重点目標2

#### 1 目標

児童がすすんであいさつできるようにする。

#### 2 目標設定の背景と具現化への方策

校内では、教職員が率先してあいさつをする取り組みを行い、成果が表れている。生活指導部においても重点目標として取り組むことで、自然なあいさつをすすんでできるようにしていく。

#### 3 数値による指標

保護者アンケートの「本校の子どもたちは、元気にあいさつしている。」の設問で、肯定的回答の割合を90%以上にする。

### 重点目標3

#### 1 目標

キャリア教育の拡充および家庭への周知を行う。

#### 2 目標設定の背景と具現化への方策

将来の自分のことについて考える機会をもたせたり、学校行事等の振り返りの中で自分の成長を確認したりして、児童の学習の軌跡をキャリアパスポートで可視化させていく。また、保護者に確認をお願いすることにより、家庭への周知を行う。

#### 3 数値による指標

保護者アンケートのキャリア教育に関わる項目について、肯定的回答の割合を80%以上にする。